

行動

頭に便を乗せる行為（弄便）が繰り返し見られる児童の対応について

原因

- ・ 時間を持て余している。
- ・ 職員との関わりを求めている。
- ・ 水遊びがしたいと思っている。

支援

- ・ 関わりの時間を決め、まとまった時間関わるようにする
- ・ 食後の定時に絵カードで排便を促し個室トイレに座る時間を作る。
- ・ 排便ができたら強化子（お菓子等）で褒めて行動を強化するようにする。
- ・ 弄便したらシャワー浴で水遊びできると認識されないように、汚れた場合のシャワー浴は汚れを取る手段として手短に済ませる。

結果

- ・ 正しくトイレを済ませて、褒められる一連の関わりで自己効力感を高めることとなり、日中全体を通じて落ち着いて過ごすことができた。
- ・ 関わる時間がまとまって保証されることで弄便の回数が減った。